

きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成28年8月31日 No.3

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を込めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。

【2学期が始まりました。学校支援本部の活動は1年生スタディルームからスタートです。】

7月の活動を報告します。



土曜授業にゲストティーチャーをお招きしました

7月9日（土）、4年生の「戦争のお話を聞く」授業に、地域にお住いの蜂巣成昭さんをお招きしました。国民学校（現・小学校）1年生で疎開した体験を中心に、戦時下の暮らしについてお話をいただきました。当時の通知簿や、たくさんの写真、ハガキや切手など貴重な資料も見せてくださいました。4年生からの様々な質問にも丁寧なご説明があり、理解を深めることができました。



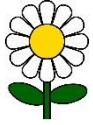
学校探検の授業で給食室の見学をしました

7月20日（水）、1学期最後のこの日、1年生の給食室見学の引率を支援本部がお手伝いしました。1クラスが4グループに分かれ、最初に栄養士の松川先生からお話を聞いた後、4つのエリアを順番に見て回り説明を受けました。皮むき機で実際にジャガイモの皮がむける様子を見て喜ぶ1年生。カレーラースの日は20kgものジャガイモの皮をむくと聞いてビックリです。巨大な回転釜、ひしゃく、炊飯器、何もかもが大きくて圧倒されました。食器洗浄機も作動して見せてもらいました。実際の調理の際は部屋の温度はとても高くなります。暑い中で、限られた時間内に、おいしい給食を作ってくださる調理師さんに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。



写生会の絵を浴風会で展示

7月末から8月上旬にかけて、5年生の絵が、浴風会の第三南陽園に展示されました。5月31日に浴風会敷地内で実施した写生会の絵です。下書きなしで筆ペンで一気に描いた絵に、あとから染料で着色しました。どの絵も個性的で素敵な仕上がりで、入居者の皆さんや、訪問者の方々に大変好評だったとうかがいました。学校と地域とのつながりを大切にした学習にもなりました。



3校の支援本部が顔を合わせました

夏休みに入った7月23日（土）、富士見丘中学校を会場に、富士見丘中学校、富士見丘小学校、高井戸小学校の支援本部メンバーが集まりました。中学校からは校長先生も参加され、3校合同の初めての会合を行いました。本校からは4名が参加。それぞれの支援本部の活動を紹介し合い、課題を共有するなど、有意義な情報交換の場となりました。小中連携の一環として、今後は支援本部間の交流も進めていく予定です。

【7月の花マル先生活動日】3回 【7月の基礎基本タイム丸付け】3回

【学校支援本部】メールは→fujimishoushien@bz03.plala.or.jp
電話・FAXは→03-5941-8967

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。